


《みんなのお金の使い道》

一般会計の歳出額約 257 億円を市民 1 人あたりで計算すると約 **40 万円**です。そのお金は次のように使われました。


※平成 28 年 3 月 31 日現在の人口 (64,100 人)で計算しています。




学校教育, 文化,
スポーツのため
2 万 9 千円




ごみ処理や
環境を守るため
3 万 6 千円




農林水産業,
商業のため
1 万 7 千円




市民の
福祉増進のため
15 万円



道路, 公園など
まちの整備のため
3 万 2 千円



消防や
防災対策のため
1 万 6 千円



その他
(市の運営など)
12 万円

■特別会計の決算

| 会計名 | 歳入 | 歳出 |
|-----------|---------------|---------------|
| 駐車場事業 | 4,189 万円 | 2,397 万円 |
| 国民健康保険 | 87 億 8,215 万円 | 86 億 3,095 万円 |
| 介護保険 | 58 億 9,202 万円 | 57 億 2,140 万円 |
| 後期高齢者医療 | 9 億 2,458 万円 | 9 億 2,346 万円 |
| 地方卸売市場事業 | 1,330 万円 | 1,315 万円 |
| 下水道事業 | 30 億 3,798 万円 | 30 億 3,426 万円 |
| 農業集落排水事業 | 8,723 万円 | 8,712 万円 |
| 小型自動車競走事業 | 69 億 2,916 万円 | 78 億 6,137 万円 |

■基金残高

| 27 年度 | | 26 年度 | |
|------------------------------|-----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 決算年度末時 平成 28 年 3 月 31 日現在 | 出納閉鎖時 平成 28 年 5 月 31 日現在 | 決算年度末時 平成 27 年 3 月 31 日現在 | 出納閉鎖時 平成 27 年 5 月 31 日現在 |
| 76 億 5,570 万円 | 83 億 8,600 万円 | 70 億 9,397 万円 | 76 億 5,518 万円 |

※一般会計と特別会計すべての基金残高です。

■地方債残高

| | 27 年度末 | 26 年度末 |
|------------------|---------------------|-----------------------|
| 一般会計 | 291 億 2,894 万円 | 297 億 3,414 万円 |
| 特別会計 | 195 億 7,349 万円 | 199 億 8,691 万円 |
| 合 計 | 487 億 243 万円 | 497 億 2,105 万円 |
| 市民 1 人あたり | 約 76 万円 | 約 77 万円 |

※市民 1 人あたりの額は、それぞれの年度の 3 月 31 日現在の人口で計算しています。



用語解説

自主財源

市税や施設使用料など、市が国や県に依存することなく自ら調達することができる財源です。

依存財源

地方交付税や国庫支出金など一定の基準に基づき、国や県から交付される財源です。

地方交付税

市の財政力に応じて、国から交付されるお金です。

国庫支出金・県支出金

事業の財源として、あらかじめ使途が決められた上で、国や県から交付されるお金です。

市債

事業を行うために、市が国や金融機関から借り入れるお金です。

義務的経費

歳出のうち、その支出が義務付けられている経費です。この割合が高いほど、新たな事業などに使えるお金が少なくなります。

投資的経費

道路、橋りょう、学校、公共施設の整備等、将来に残るものに対して支出される経費です。

公債費

市債による借入金の元利償還金と一時借入金利子の合計額です。

物件費

施設の光熱水費や維持補修費、各種委託料などの経費です。

補助費等

一部事務組合等に対する負担金や各種公益団体に対する補助金などの経費です。

繰出金

一般会計から特別会計へ支出される経費です。